

平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	国立研究開発法人放射線医学総合研究所運営費交付金に必要な経費			担当部局	復興庁		作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 小瀬 達之	
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国立研究開発法人放射線医学総合研究所法第14条			関係する計画、通知等	放射線医学総合研究所中期目標、がん研究10か年戦略、がん対策推進基本計画、原子力政策大綱、原子力の重点安全研究計画、防災基本計画、緊急被ばく医療のあり方について、福島復興再生基本方針			
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	放射線医学総合研究所は、放射線と人々の健康に関わる総合的な研究開発に取り組む国内で唯一の研究機関であり、東日本大震災において発生した原子力発電所事故に伴う放射線に対する住民や復旧作業員等の不安軽減に貢献すると共に、国民の「安全」、「安心」にも貢献することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	放射線による長期的な被ばく影響を評価し、その低減方策を提示するため、長期被ばくのメカニズム解明等に向けた研究を強化する一方、原子力発電所事故の復旧作業員等の健康追跡調査や、緊急被ばく医療研究の充実に向けた取組を行う。							
実施方法	その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	572	469	433	218	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	572	469	433	218	
	執行額	-	572	469	-	-		
執行率(%)	-	100%	100%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果のうち、標準評価以上の評価を受けた項目の割合 ※平成24, 25年度については、独立行政法人評価委員会の年度評価結果で標準評価以上の評価を受けた項目の割合	標準評価(A評価)以上の評価を受けた項目の割合	成果実績	点	100	97.8	-	-
			目標値	点	100	100	100	100
			達成度	%	100%	97.8%	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	福島県の保健医療関係者を対象とした被ばく医療に関する研修や自治体職員・教員などに対する放射線の基礎研修等の実施回数	活動実績	回	-	-	5	-	
		当初見込み	回	-	-	7	5	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	国立研究開発法人放射線医学総合研究所の事業を実施する上で必要な運営費交付金であるため、単位当たりのコストの算出は困難。	単位当たりコスト	/	-	-	-	-	
		計算式	/	-	-	-	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	国立研究開発法人放射線医学総合研究所運営費交付金	433	218	復興の進捗に伴うニーズの変化を踏まえ支援の重点化を図ったことによる減。				
	計	433	218					

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、放射線と人々の健康に関わる総合的な研究開発に取り組む国内で唯一の研究機関である放射線医学総合研究所において、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う放射線に対する住民等の不安軽減や国民の「安全」、「安心」にも貢献する重要な事業であり、国民や社会のニーズを反映したものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	上述のとおり、放射線と人々の健康に関わる総合的な研究開発に取り組む国内で唯一の研究機関である放射線医学総合研究所の復興特別会計の運営費交付金であり、必要不可欠な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	「随意契約等の見直し計画」(平成22年4月)を踏まえ、引き続き仕様書マニュアルによる仕様書の事前チェック等により競争性のない随意契約や1者応札の縮減による契約の適正化に努めた。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	いずれも放射線医学総合研究所が行う研究開発等の取組において必要かつ合理的な支出である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	文部科学省所管の研究開発法人8法人で構成する研究開発調達会合での検討結果を踏まえ、参加者確認公募による調達を行う等、競争性・透明性を確保しつつ、事業の効率化に努めた。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	上記の取組に加え、一般管理費や業務経費を削減するためのアクションプランを作成し、業務委託費や保守修繕費の業務内容の見直しやその他の経費の効率化に取り組んでいる。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	被ばく医療や放射線の基礎研修等において、受講者から見込みを上回る高い評価点を得ている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業は、放射線と人々の健康に関わる総合的な研究開発に取り組む国内で唯一の研究機関である放射線医学総合研究所の復興特別会計の運営費交付金であり、マネジメントや評価等を通じて効果的・効率的な運営が図られている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	放射線医学総合研究所においては、各研究分野毎にセンター制を敷いており、各センター長が研究のマネジメント管理を行うとともに、年に1回、外部有識者を含めての内部評価及び独立行政法人評価委員会の場において研究の進捗状況について報告しており、そうした成果として、被ばく医療や放射線の基礎研修等が着実に実施されてきている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	被ばく医療従事者等に対する人材育成に貢献するなど、取組の成果が十分に社会に発信され、活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、放射線と人々の健康に関わる総合的な研究開発に取り組む国内で唯一の研究機関である放射線医学総合研究所において、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う放射線に対する住民等の不安軽減や国民の「安全」、「安心」にも貢献する重要な事業であり、実際に被ばく医療や放射線の基礎研修等において、受講者から見込みを上回る高い評価点を得ている。文部科学省所管の研究開発法人8法人で構成する研究開発調達検討会合での検討結果等を踏まえ、ベストプラクティスの抽出・実行に向けた取組として参加者確認公募による調達を行っており、引き続き、事業の効果的・効率的な実施に努めるべき。	
	改善の方向性	調達改善の結果を継続し、一括調達や単価契約に取り組むとともに、国立研究開発法人間で調達実績等の情報を共有し、引き続き効率的な調達に努める。	
外部有識者の所見			
点検対象外			

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善	復興の進捗に伴うニーズを変化を踏まえた絞り込みを行うとともに、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。
-----------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

縮減	事業の目的である、原子力発電所事故に伴う放射線に対する住民や復旧作業員等の不安軽減に貢献すると共に、国民の「安全」、「安心」にも貢献する目的の達成に向け事業を推進しつつ、復興の進捗に伴うニーズの変化を踏まえ支援の重点化を図り、減額のうえ平成28年度予算要求を行った(対前年度比215百万円減)。
----	---

備考

○放射線医学総合研究所は、ピキニ環礁での第五福竜丸事件を背景に世界で唯一の被ばく国である我が国において象徴的に設置された研究機関である。これまでのJCO事故などにより被ばくした患者の受け入れや21年間で9,000名を越す重粒子線がん治療、さらに放射線医学の分野における、日本で唯一かつ世界をリードする研究機関として、IAEAやWHOなどの国際機関の強力なパートナーとなるなど、様々な活動を行っている。

○原子力発電所事故対応として

- ・平成23年3月11日に起きた東日本大震災によって発生した東電福島第一原子力発電所事故に伴い、事故復旧作業に従事している作業員等に対する医療活動、ならびに住民の方のスクリーニングに対応するための被ばく医療等の専門家派遣、さらに警戒区域への一時立入に医師、放射線管理の専門家らを派遣する等、万全の体制で臨めるよう支援している。
- ・事故復旧作業に従事している作業員等に対し、放射線測定を実施し、三次被ばく医療機関として、復旧作業中において被ばくした患者に対して適切な治療を行うなどの活動を継続している。
- ・福島県住民の方のみならず全ての国民の方に対して、放射線に関する健康相談を電話で受け付けられる窓口を設置し、平成27年3月までに約19300件の相談を受けた。さらに、放射線被ばくに関する不安等に応えるため、各地で開催される講演等に講師として専門家を派遣している。
- ・また、福島県が実施する県民健康管理調査などの諸活動についても国などの関係機関と協力してその活動を支援しているところである。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	25新-025	平成26年度	071			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁

文部科学省へ移替え

文部科学省
468.9百万円

事業概要
国立研究開発法人放射線医学総合研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付

〔交付〕

〔A〕国立研究開発法人放射線医学総合研究所
468.9百万円(運営費交付金部門)

事業概要
東日本大震災からの復旧・復興に資するため、放射線核種の環境動態及び長期被ばく健康影響メカニズムの解明、緊急被ばく医療を実施する。

〔A〕国立研究開発法人放射線医学総合研究所 468.9百万円

一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争
【A-1】 ・遺伝子解析装置(DNAシーケンサー) ・(株)池田理化 ・30.9百万円	【A-2】 ・染色体標本自動スキャニング・解析装置 ・(株)薬研社 ・26.5百万円	【A-3】 ・自動免疫染色装置 ・(株)池田理化 ・23.5百万円	【A-4】 ・フォローアップシステム整備ハードウェアの保守 ・ネットワークシステムズ(株) ・15.4百万円	【A-5】 ・卓上型フローサイトメーター ・(株)薬研社 ・13.8百万円	【A-6】 ・低バックグラウンド用β線スペクトロメーター ・富士電機(株) ・13百万円	【A-7】 ・フォローアップシステム整備ソフトウェアの保守 ・富士通(株) ・10.2百万円	【A-8】 ・パイオ・イメージングアナライザーシステム ・(株)池田理化 ・8.7百万円	【A-9】 ・化学発光撮影装置 ・(株)池田理化 ・8.6百万円	【A-10】 ・蛍光病理標本バーチャル化用オプション ・(株)池田理化 ・8.5百万円
事業概要 腫瘍ゲノム等のDNA塩基配列の解析に用いる遺伝子解析の購入	事業概要 染色体標本を自動でスキャンし、構造解析に用いる染色体標本自動スキャニング・解析装置の購入	事業概要 一度に複数のサンプル、かつ、複数の抗体について免疫染色が可能な自動免疫染色装置の購入	事業概要 復旧作業員などのフォローアップシステムを構成するハードウェア等のインフラ基盤の保守業務	事業概要 細胞の性質をフローサイトメトリーの手法による解析ができる卓上型フローサイトメーターの購入	事業概要 β線放出核種のエネルギー情報及びその放射能の測定が可能な低バックグラウンド用β線スペクトロメーターの購入	事業概要 復旧作業員などのフォローアップシステムを構成するソフトウェア等の保守業務	事業概要 各研修の実習等で放射線測定、放射性物質の分布の教授に用いるパイオ・イメージングアナライザーシステムの購入	事業概要 化学発光、蛍光及び可視光測定を伴う分子生物学的解析の実施に用いる化学発光撮影装置の購入	事業概要 蛍光染色されたスライドをバーチャルスライド化に使用する蛍光病理標本バーチャル化用オプションの購入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.国立研究開発法人放射線医学総合研究所			A-4.ネットワークシステムズ(株)		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
事業費(物件費)	遺伝子解析装置(DNAシーケンサー)の購入など	406.7	事業費(物件費)	フォローアップシステム整備ハードウェアの保守	15.4
事業費(人件費)	事業系人件費	61.5			
事業費(退職手当等)	事業系職員の退職手当等	0.7			
計		468.9	計		15.4
A-1.(株)池田理化			A-5.(株)薬研社		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
事業費(物件費)	遺伝子解析装置(DNAシーケンサー)	30.9	事業費(物件費)	卓上型フローサイトメーター	13.8
計		30.9	計		13.8
A-2.(株)薬研社			A-6.富士電機(株)		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
事業費(物件費)	染色体標本自動スキャニング・解析装置	26.5	事業費(物件費)	低バックグラウンド用β線スペクトロメーター	13
計		26.5	計		13
A-3.(株)池田理化			A-7.富士通(株)		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
事業費(物件費)	自動免疫染色装置	23.5	事業費(物件費)	フォローアップシステム整備ソフトウェアの保守	10.2
計		23.5	計		10.2

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A-8.(株)池田理化			M.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	バイオ・イメージングアナライザーシステム	8.7			
計		8.7	計		0
A-9.(株)池田理化			N.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	化学発光撮影装置	8.6			
計		8.6	計		0
A-10.(株)池田理化			O.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	蛍光病理標本パーチャル化用オプション	8.5			
計		8.5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	腫瘍ゲノム等のDNA塩基配列の解析に用いる遺伝子解析の購入	30.9	1	-
2	(株)薬研社	染色体標本を自動でスキャンし、構造解析に用いる染色体標本自動スキャン・解析装置の購入	26.5	1	-
3	(株)池田理化	一度に複数のサンプル、かつ、複数の抗体について免疫染色が可能な自動免疫染色装置の購入	23.5	1	-
4	ネットワンシステムズ(株)	復旧作業員などのフォローアップシステムを構成するハードウェア等のインフラ基盤の保守業務	15.4	1	-
5	(株)薬研社	細胞の性質をフローサイトメトリーの手法による解析ができる卓上型フローサイトメーターの購入	13.8	1	-
6	富士電機(株)	β 線放出核種のエネルギー情報及びその放射能の測定が可能な低バックグラウンド用 β 線スペクトロメーターの購入	13	1	-
7	富士通(株)	復旧作業員などのフォローアップシステムを構成するソフトウェア等の保守業務	10.2	1	-
8	(株)池田理化	各研修の実習等で放射線測定、放射性物質の分布の教授に用いるバイオ・イメージングアナライザーシステムの購入	8.7	2	-
9	(株)池田理化	化学発光、蛍光及び可視光測定を伴う分子生物学的解析の実施に用いる化学蛍光撮影装置の購入	8.6	3	-
10	(株)池田理化	蛍光染色されたスライドをバーチャルスライド化に使用する蛍光病理標本バーチャル化用オプションの購入	8.5	3	-

※落札率は同種の他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため非公表。